



シリーズ
タンチョウ
Vol. 378

鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

石下 亜衣紗

〒085-1205 鶴居村中雪裡南 ☎64-2620/FAX64-2239

鶴居 タンチョウ

検索



長沼町×美唄市×鶴居村 タンチョウ子ども交流ツアー ～鶴居編～

KODOMO湿地交流つるい委員会では、子どもたちの自然体験・交流の機会を作るため、村からの支援を受け、村内の小中学生を対象に毎年「KODOMO湿地交流」に取り組んでいます。北海道各地、時には本州の子どもたちと自然体験を通して交流してきました。今年も8月8・9日に、長沼町と美唄市の子どもたちを鶴居村に招いての交流ツアーを実施しました。参加した子どもの数は3市町村合わせて39名！非常に賑やかな交流会となりましたので、その時の様子をご紹介します。

釧路湿原の広大な景色と湿原のスポンジのようにふわふわした感触を体感してもらいたい！ということで1日目は湿原探検をしました。探検に出かける前に今回のホストである鶴居村の子どもたちが、釧路湿原の説明や歩くときに注意しなければならないことをゲストの子どもたちにレクチャーをして出発です。湿原の中は100mほど歩くだけでもそれぞれ違った踏み心地が体感でき、モウセンゴケやヤチヤナギ、イソツツジといった湿原ならではの植物を見つけることができました。

今回は夜の時間も一味違いました。いつもはそれぞれホテルや自宅に帰って夕飯・就寝でしたが、今回はなんと夕飯付でみなくるに宿泊です！夕飯はスタッフの手作りカレー。釧路丹頂農業協同組合からご提供いただいた牛乳で乾杯したあと、夏野菜たっぷりのカレーをいただきました。「牛乳苦手だけど、今日はちょっとだけ飲んでみる」という子もいて、いつもと違う雰囲気、チャレンジする心も刺激されたようです。帰れる距離に住んでいる、つるいっ子たちも寝袋持参で泊まり込み、特別な一夜となりました。

2日目はタンチョウの巣の調査です。昨年も行いましたが、これは鶴居村でしかできない体験でしょう。今年生まれのヒナを連れたタンチョウ家族を観察した後、春に使っていた巣へと向かいます。前夜の大雨で巣の周りは水位が上がっており、苦労しながらも、巣にたどり着いたので、こうやってタンチョウたちは卵やヒナを守っている事をより実感することができました。

今回は例年以上に濃密な体験をすることができたとスタッフ一同自負しております。その分、活動における課題・改善点も鮮明になり、気が引き締まりました。ここまでの体験を実施できたのも、農家のみなさま、夕飯の会場・食材の提供、日帰り入浴、みなくるでの宿泊、朝ごはんのデリバリーなど鶴居村のみなさんのご理解とお力添えがあってこそ。盛りだくさんな内容に、一緒に2日間過ごした大人たちはへとへとでしたが、子どもたちの楽しそうな姿や釧路湿原や鶴居村のことを紹介する、つるいっ子たちの自慢げな顔を思い出し、10月の長沼町・美唄市訪問に向けて準備を進めています。

